

# ランチャー操作説明書

ランチャーは、本装置におけるアプリケーションを簡単に起動する機能です。

## <機能>

- ランチャー画面に登録されたアプリケーションボタンからのアプリケーション起動
- ランチャー画面のカスタマイズ機能
- アプリケーション自動起動機能

## 1 ランチャーの起動/終了方法

ランチャーは Windows 起動時に自動で起動します。

終了方法は「3. 1 ランチャー保守画面」の「⑤ ランチャー終了」を参照してください。

## 2 ランチャーの操作方法

ランチャー起動時の画面です。



※出荷時の場合

### ① ウィンドウ表示ボタン

すべてのアプリケーションウィンドウをランチャーの前面に表示し、最小化ウィンドウを元のサイズに戻します。

### ② 保守画面表示ボタン

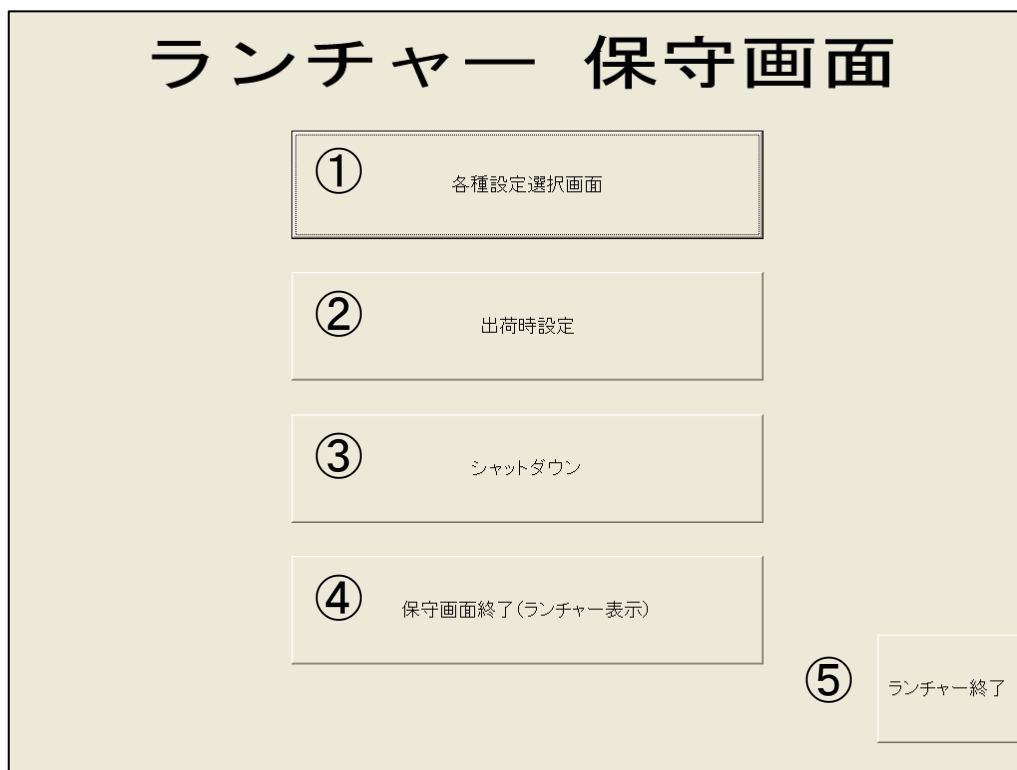
ランチャー保守画面を表示します。「3. 1 ランチャー保守画面」を参照してください。

### ③ アプリケーションボタン

アプリケーションボタンをクリックすると設定されたアプリケーションを起動します。

## 3 ランチャー保守画面の操作方法

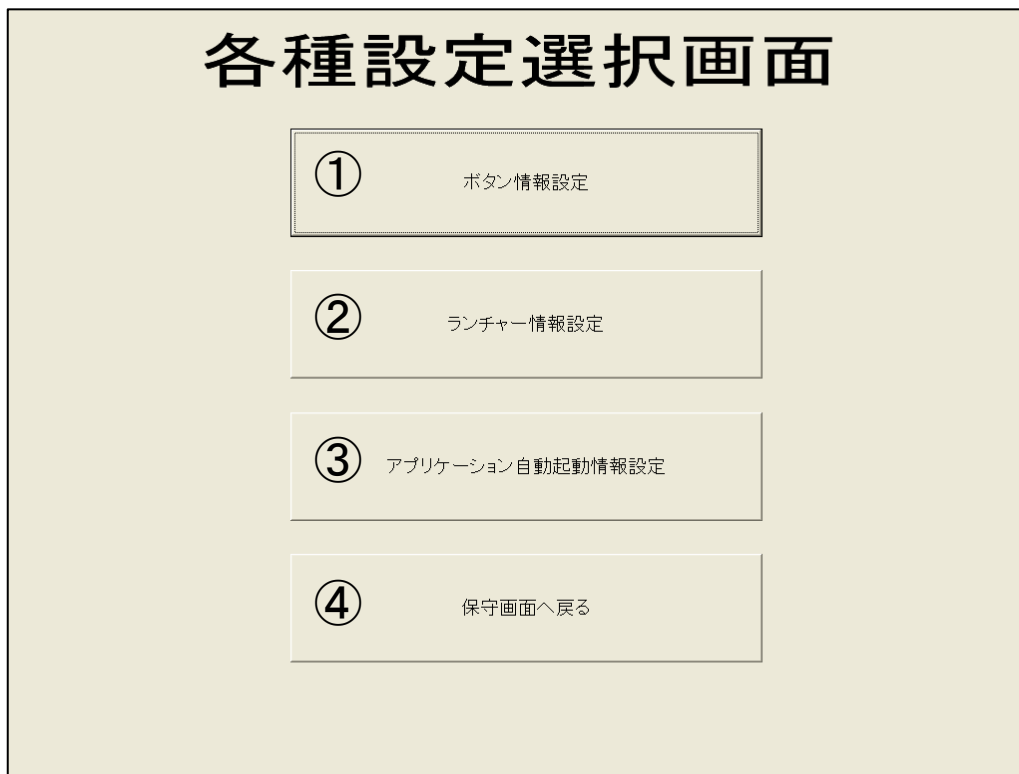
### 3.1 ランチャー保守画面



- ① **【各種設定選択画面】**  
ランチャーの各種設定をする画面に移ります。  
「3.2 各種設定選択画面」を参照してください。
- ② **【出荷時設定】**  
ランチャーの設定を出荷時の状態に戻します。
- ③ **【シャットダウン】**  
ランチャー及び Windows を終了して本体の電源を OFF にします。
- ④ **【保守画面終了(ランチャー表示)】**  
保守画面を終了し、ランチャー画面に戻ります。
- ⑤ **【ランチャー終了】**  
ランチャーを終了し、Windows 画面に戻ります。

### 3.2 各種設定選択画面

ランチャーの各種設定をするための選択画面です。  
次に説明するさまざまな登録や設定ができます。



① **【ボタン情報設定】**

ランチャー画面で起動できるアプリケーションを設定します。「3.2.1 ボタン情報設定画面」の操作方法を参照してください。

② **【ランチャー情報設定】**

ランチャー画面に関する設定を行います。「3.2.2 ランチャー情報設定画面」の操作方法を参照してください。

③ **【アプリケーション自動起動情報設定】**

ランチャー起動時に自動的に起動するアプリケーションを設定します。「3.2.3 アプリケーション自動起動情報設定」の操作方法を参照してください。

④ **【保守画面へ戻る】**

「3.1 ランチャー保守画面」に戻ります。

### 3.2.1 ボタン情報設定画面

ランチャー画面に表示するアプリケーションボタンの設定をします。

#### ① [ファイルパス]

アプリケーション実行ファイルの絶対パス（起動するアプリケーションが存在する最上位ドライブからのパス）を入力します。

※画面例ではCドライブ配下にあるインターネットエクスプローラのボタンを作成し、起動できるようにC:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exeを設定しています。

なお、右にある[参照]をクリックして表示される[ファイル選択]ダイアログボックスでアプリケーションのファイルパスを設定することもできます。

#### 重要

- 最大文字数は半角で 200 文字です。
- パスが無効な場合、アプリケーションボタンにアイコンが表示されません。

#### ② [パラメータ] (任意)

アプリケーションへ渡すパラメータを設定します（http://www.nec.co.jp/と入力するとインターネットエクスプローラ起動時に弊社のホームページを表示するように設定できます）。

#### 重要

- 最大文字数は半角で 200 文字です。

#### ③ [説明] (任意)

アプリケーションボタンの右側に表示する説明を設定します。

左寄せ、上下中央に表示します。中央表示、右寄せ、改行はスペースで調整してください。

#### 重要

- 文字数は最大で全角 55（半角 110）文字です。

④ **【アプリケーション起動時の表示サイズ】**

右側にある[▼]をクリックし、ウィンドウを[最大化する][最大化しない]をリストボックスから選択します。

⑤ **【OK】**

ボタン情報設定を更新し、「3. 2 各種設定選択画面」に戻ります。

⑥ **【キャンセル】**

ボタン情報設定を終了し「3. 2 各種設定選択画面」へ戻ります。[OK]をクリックしていない場合、ボタン情報設定を更新せず、「3. 2 各種設定選択画面」へ戻ります。

⑦ **【クリア】**

各入力エリアの設定をクリアします。クリアした状態で[OK]をクリックするとボタンは表示されません。[OK]をクリックしなければボタン情報設定は更新しません。

⑧ **【次へ】**

次のボタン情報を表示します。ボタンは最大 15 個まで設定できます。ただしランチャー画面に表示されるのは「3. 2. 2 ランチャー情報設定画面」の有効ボタン数で設定したボタン数となります。

⑨ **【戻る】**

一つ前のボタン情報を表示します。

### 3.2.2 ランチャー情報設定画面

ランチャー画面の基本的な設定を行います。

**ランチャー情報設定**

① 有効ボタン数: 15

② 起動音再生ファイルパス: C:\NECTools¥start.wav 参照

③ 基本アイコン設定: C:\¥Documents and Settings¥NEC¥My Documents¥My Pic 参照

OK
キャンセル
初期設定

④                      ⑤                      ⑥

#### ① [有効ボタン数]

ランチャー画面上に表示するアプリケーションボタン数を設定します。1 個～15 個まで選択できます。

#### ② [起動音再生ファイルパス] (任意)

アプリケーションが起動する際に再生する WAVE ファイルの絶対パス (WAVE ファイルが存在する最上位ドライブからのパス) を入力します。

※画面例では C:\NECTools¥start.wav を入力しています。

なお、右にある[参照]をクリックして表示される[ファイル選択]ダイアログボックスでアプリケーションのファイルパスを設定することもできます。

#### 重要

- 最大文字数は半角で 200 文字です。

#### ③ [基本アイコン設定]

ボタン情報設定画面で設定したアプリケーションにアイコンが無い場合、ボタンに表示するアイコンファイルの絶対パス (アイコンファイルが存在する最上位ドライブからのパス) を入力します。

※画面例では C:\¥Document and Settings¥NEC¥My Documents¥My Pictures¥desk\_1.ico を入力しています。

なお、右にある[参照]をクリックして表示される[ファイル選択]ダイアログボックスでアプリケーションのファイルパスを設定することもできます。

#### 重要

- 最大文字数は半角で 200 文字です。

## ④ [OK]

ランチャー情報設定を更新し、「3.2 各種設定選択画面」に戻ります。

## ⑤ [キャンセル]

ランチャー情報設定を終了し「3.2 各種設定選択画面」に戻ります。[OK]をクリックしていない場合、ランチャー情報設定を更新せず、「3.2 各種設定選択画面」へ戻ります。

## ⑥ [初期設定]

各入力エリアに既定値を表示します。[OK]をクリックしなければ設定は更新しません。

### 3.2.3 アプリケーション自動起動情報設定

ランチャー起動時に実行するアプリケーションを設定します。

**アプリケーション自動起動情報設定**

① ファイルパス:  参照

② パラメータ:

③ アプリケーション起動時の表示サイズ:

④ OK      ⑤ キャンセル      ⑥ 初期設定

## ① [ファイルパス]

アプリケーション実行ファイルの絶対パス（起動するアプリケーションが存在する最上位ドライブからのパス）を入力します。

※画面例では C ドライブ配下にあるインターネットエクスプローラを自動で起動するように C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe を設定しています。

なお、右にある[参照]をクリックして表示される[ファイル選択]ダイアログボックスでアプリケーションのファイルパスを設定することもできます。

**重要**

- 最大文字数は半角で 200 文字です。
- パスが無効な場合は、アプリケーションが自動起動しません。

## ② [パラメータ] (任意)

アプリケーションへ渡すパラメータを設定します。(http://www.nec.co.jp/と入力するとインターネットエクスプローラ起動時に弊社のホームページを表示するように設定できます)。

**重要**

- 最大文字数は半角で 200 文字です。

## ③ [アプリケーション起動時の表示サイズ]

右側にある[▼]をクリックし、ウィンドウを[最大化する][最大化しない]をリストボックスから選択します。

## ④ [OK]

自動起動情報設定を更新し、「3. 2 各種設定選択画面」に戻ります。

## ⑤ [キャンセル]

自動起動情報設定を終了し「3. 2 各種設定選択画面」に戻ります。[OK]をクリックしていない場合、自動起動情報設定を更新せず、「3. 2 各種設定選択画面」へ戻ります。

## ⑥ [初期設定]

各入力エリアに既定値を表示します。[OK]をクリックしなければ設定は更新しません。

## 4 ランチャーの表示位置、表示サイズ

下記ファイルを編集することでランチャーの表示位置、表示サイズを任意に設定することができます。  
Windows を再起動することで設定が有効になります。

ファイルパス	: C:\¥NECTools¥Launcher¥Launcher.ini
セクション名	: [LAUNCHER]
設定値	: DISPLAY_POINT_X=xxxx (表示する左上の横方向の位置) DISPLAY_POINT_Y=xxxx (表示する左上の縦方向の位置) DISPLAY_WIDTH=xxxx (表示幅) DISPLAY_HEIGHT=xxxx (表示高さ)

### xxxx に設定できる値の範囲

キー名	範囲
DISPLAY_POINT_X	-1400~1776
DISPLAY_POINT_Y	-1050~1332
DISPLAY_WIDTH	1024~2800
DISPLAY_HEIGHT	768~2100

**重要**

- 半角数字のみ有効です。  
設定可能な文字以外を指定した場合、左上の横方向の位置=0、左上の縦方向の位置=0、幅 1024、高さ 768 で表示します。
- xxxx の初期値は空白になっています。  
値に何も指定しない場合は、左上の横方向の位置=0、左上の縦方向の位置=0、ディスプレイサイズに合わせたサイズで表示します。
- 範囲外の値を設定すると、正しく表示されない場合があります。